

## 解答

問一 ア a イ  
イ イ II エ III ア  
自転車が道しるべをひいてしまった時のショックが、あまりに大きく、進ひとりが花をめちゃくちゃにした  
ような気持ちでいた。

問六 ウ

問七 エ

問六 ウ

問七 エ

問一 イ  
家庭で料理することが少なくなつたから。  
弁当をつくらない人がふえたから。

問三 A イ B ウ

働き続ける女性がふえ、仕事が忙しいと家に食材がなく、料理をつくる時間がないという問題が起ころるから。  
男性は外で働き、女性は家事・育児を任されるもの、という価値観。

問五 イ

問一 1 石 2 歌 書 3 留 4 番

一 3  
二 1  
三 9  
四 4  
五 13

## 解説

問三 一部①の前にある、かごにぎっしりつめこまれた明るい色の花たちは、夕ぐれの光の中でくろぐろとして見え、私は、そのもつそりとした不気味なかたまりから目をそらしたという内容から、選択肢アが選べます。

問七 本文の後半に着目します。A棟のわき道に咲きこぼれていたつづじを、私がむしりとつてすて、進むがつぶして引きさいたが、最初は私であるという自分の残酷さに気づき苦しんでいたところ、進が花をもどもどそうとがんばったことを知り、ほつとして明るい気持ちになつたことから、選択肢エが選べます。

問五 一部②の直前で、料理の負担が自分だけにかかっている、と感じている女性がたくさんいると述べ、少し前の部分でサラリーマン社会になつて、男性は外で働き女性は家事・育児を任されるもの、という価値観が広がつていたことを説明しています。

問六 本文のはじめにある「素材を味わわせる和食は」、「くり返し食べて飽きない料理です。」の部分や、最後から二つ目の段落にある「和食は基本的にあまり加工せず旬の素材を味わう料理です。」という記述から選択肢イが選べます。

## 二

## 一